

高等学校 令和7年度 教科 家庭 科目 家庭基礎

教 科： 家庭 科 目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 ～ 6 学年

教科担当者： （月曜：石井） （火曜：寶迫・真野田）（水曜：寶迫・真野田）（木曜：真野田・講師）

使用教科書： （ 家基705家庭基礎 気づく力 築く未来 （実教出版） ）

教科 家庭 の目標：
【知 識 及 び 技 能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善をし、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の方法	評価の観点			配当 時数
				知	思	態	
前期	・現在の目分が、成長・発達の過程にあることを認識させライフステージと発達課題について理解させる。 ・家族とはどのようなものか、客観的に考えいろいろな家族があることと、基本的な法律を理解させる。	第1章 これからの人生について考えてみよう 第2章 自分らしい生き方と家族	教科書 ワークブック プリント 視聴覚教材	○	○	○	8
	・生涯の経済計画とリスク管理、消費者としての自覚と責任を理解させる。 ・契約社会における消費者としての自覚と責任を理解させる。 ・現代の多様化する販売方法や消費者信用の内容を理解させる。 ・消費者の権利と責任を正しく理解する。	第9章 消費行動を考える	教科書 ワークブック プリント 視聴覚教材	○	○	○	12
	・子どもが持っている能力を理解し、子どもの価値観や感じ方や、乳幼児の身体の発達と心の発達についてその特徴を理解させる。 ・乳幼児の生活習慣について理解させる。 子どもの生活における「遊び」の重要性を理解させる。	第2章 子どもの発達と保育	教科書 ワークブック プリント 視聴覚教材	○	○	○	8
	・高齢社会の現状について、人口割合や高齢者が抱えるストレス等について理解する。 ・高齢者の心身の変化や特徴、生活の不安や介護について理解する。 ・介護保険制度や、社会保障制度のしくみについて理解する。	第4章 高齢者とのかかわる 第5章 社会とのかかわる	教科書 ワークブック プリント 視聴覚教材	○	○	○	8
	・これまでの学習成果をはかる。	前期期末考査	考査	○	○		2
後期	・ライフステージに応じて適切な衣服の選択が求められることを理解する。 ・日常着ている衣服の素材、布地の種類を理解する。 ・被服実習「刺し子」の技法を理解する。	第7章 衣生活をつくる	教科書 ワークブック プリント 視聴覚教材 実習教材	○	○	○	12
	・高校生の食生活や栄養素、食品群別摂取量について理解する。 ・食中毒や食品添加物、食品の表示について理解する。 ・調理実習 基本的な調理操作を理解する。	第6章 食生活をつくる	教科書 ワークブック プリント 視聴覚教材 実習プリント	○	○	○	14
	・ライフステージに応じた住要求やどのようにして快適な室内環境をつくるかを理解する。 ・生涯の経済計画とリスク管理など	第8章 住生活をつくる	教科書 ワークブック プリント 視聴覚教材	○	○	○	12
	・これまでの学習成果をはかる。	後期期末考査	考査	○	○		2
							合計 78